

えんちょう先生の わくわくだより

令和3・2・3 NO22

今年は124年ぶりに2月2日が節分という事でこども園は一日遅れの節分行事を行いました。
「冬と春の季節を分ける、春の来る前日に行う行事です。昔から節分には悪い事を追い出し、幸せの神様を呼び込むと言われています。悪いもの困ったものの総称を「鬼」とした様です。生の豆を投げると地面から芽が出てくる事を不吉として、必ず火で炒った豆を投げたんだよ。鬼の嫌いなものは馬酔木とイワシ。チクチクとげのあるヒイラギも嫌いの様です。今日は、みんなで、自分の中の困った鬼がいたら一緒に追い出しちゃおうかね？ みんなで「鬼はそと」「福はうち」「コロナもどっかにいっちゃえ～」と豆まきをしましょう・・・こんなお話を聞いて豆まきをしました。



未満児さんは遊戯室で大きな球を鬼にぶつけたので、そのあとの修理が大変でしたよ。鬼係の先生達のチームワークの良さで修理も無事終了以上児さんの豆まきも楽しくできてよかった！



未満児さんの給食は美味しい鬼



バスの運転手の柴田さんが今年も馬酔木の木を取って来て下さい

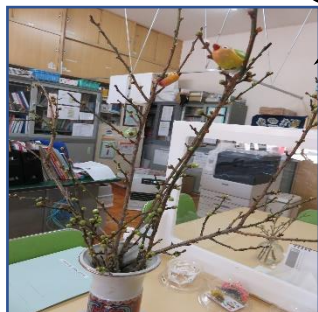


春がきたよ

みんな一緒に おにわそと～



昼食中に読んでもらいました



鬼プロジェクトの先生達を作ってくれた今年の鬼！園庭で作ったお面を見せあったり、豆を炒る所を見たり、馬酔木も燃やしました。



お面を見せ合う
大行進です。

